



地域再生計画認定



4月18日(火)、地域再生計画認定書の授与式が首相官邸で行われ、「四季の彩りに風薫るひかりの郷“日光”活性化計画」が認定されました。

この計画は、広大な市の各地域を効率的に結ぶ道路ネットワークを整備することで、観光都市として再生を図ることを目的としています。計画が認定されたことにより、道路を整備するための交付金が交付されます。

三依診療所再開



昨年12月に新築された三依診療所が4月20日(木)、診療を開始しました。診療に当たるのは、旧珪肺労災病院を引き継いだ獨協医科大学日光医療センターで、毎週木曜日に内科医、看護師、事務員が1人ずつ派遣されます。三依診療所は平成14年から閉鎖されていました。この間、ほかの医療機関に通っていた方は「近くにできてよかった。助かる」と、4年ぶりの診療再開を喜んでいました。

フォトダイアリー

また駐車場の約1.5kmの山道はハイキ

また駐車の約1.5kmの山道はハイキ

ビーフピア



栗山地域で毎年開催されているビーフピアが、今年も5月3日(水)に上池ダム広場で行われました。

ビーフピアは、月山に咲くヤシオツツジの開花に合わせて行われているバーベキュー大会です。今年は開花には少し早かったようですが、天候には恵まれ、市内外から約500人が訪れました。参加者は、雪の残る山々を眺めながら、おいしい牛肉を味わっていました。

宇都宮市から来ていた観光客の方は「ビーフピアに参加するのは今年で10回目になります。今年はヤシオツツジの花が咲いていませんでしたけど、天気もよくて楽しかったです」と話していました。



こんぴらさん 琴平山両大神社大祭



琴平山(平ヶ崎)の頂上にある両大神社で5月3日(水)、毎年恒例の大祭が行われました。この日は、地元の人たちによる焼きそばやおでんなどの出店が並び、暖かな陽気も手伝って、多くの家族連れが訪れました。

社殿で行われた神事に続いて、関白流獅



春の獅子舞は悪霊除けの意味があり、獅子に頭をかんでもらうと、病気にならないといわれています。

子舞が奉納されました。3頭の獅子による迫力ある舞いに、大勢の見物人が見入っていました。その後、がらまきも行われ、子どもたちが歓声を上げながら、お菓子やおもちゃを拾い集めていました。

祖母と一緒に訪れた高橋達大君(大室小学校3年生)は「このお祭りには5回以上来ています。今日は獅子舞がとても印象的でした。がらまきではたくさんお菓子が取れてよかったです」と話してくれました。

ダムダムミュージアム

ゴールデンウィークに合わせて、鬼怒川・川治温泉観光協会などが開催しているイベントです。川治温泉や五十里ダムに大小約3千匹のこいのぼりが飾られ、訪れた人の目を楽しませていました。

